



春に流行する感染症

春は入園、入学、就職、転居のシーズンです。これまでと違った新しい環境に適応するまでの間、大人も子供も心身共にストレスや疲労を感じやすくなり細菌やウイルスへの抵抗が弱まります。特に春先は寒暖差が大きくなるせいもあり、体調を崩す人が多くなり感染が拡大しやすくなってしまいます。

麻疹（はしか）

風疹

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

これらの感染症は主に子供の間で流行する病気ですが、大人にかかると重症化しやすく注意が必要です。

● 麻疹(はしか)

【症状】

発熱・鼻汁・くしゃみといった風邪とよく似た症状から始まり、口の中に小さな白い斑点(コプリック斑)が現れ、数日後に体全体に発疹ができる

免疫がつくので一度かかると大人になるまで感染しにくい病気

本来子供がかかりやすかった病気だが、近年では成人の感染者が増加

● 風疹

【症状】

通常耳の後ろのリンパ節が腫れ、顔や耳の後ろに発疹が現れ体に広がる
発熱することもあり、発疹が消えていく頃にかゆくなる

大人になってからかかると発熱・発疹が出ている期間が長く、関節痛がひどくなる
妊婦さんが感染すると胎児に影響が出ることが問題の病気

● 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

【症状】

耳・あごの下・頬の後ろあたりが腫れる

発熱することが多く、腫れの痛みが強くなることもある

幼児～小学校低学年くらいまでの小児に多く発症するが、思春期以降の男性は精巣炎、
思春期以降の女性は卵巣炎などの合併症が発生することもある

予防

予防接種を受けておく

基本であるうがい、手洗いは普段から習慣付けましょう

